

第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 7 回審議会

会議名	第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 7 回審議会
日時	平成 24 年 6 月 13 日（水）午後 3 時から午後 4 時半
場所	宇治市中央図書館集会室
出席者	<p>（委員）</p> <p>森川 知史委員長、門脇 洋子 委員長職務代理、奥西 隆三委員、迫 きよみ 委員、弓指 義弘 委員、坂田 耕作 委員、清水 桂子 委員、原 保彦 委員、吉田 隆 委員、六嶋 由美子 委員、小宮山 恭子委員、桑原 千幸 委員</p>
	<p>（事務局）</p> <p>藤原 千鶴 教育部次長兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長、北岡 和昌 中央図書館長、瀬野 克幸 総括指導主事、安達 昌子 生涯学習課主幹、久泉 昭人 生涯学習課主幹、前田 紘子 生涯学習課生涯学習係長、西田 知世 生涯学習課主事、佐野 雅俊 生涯学習課主事</p>
	<p>（傍聴者）</p> <p>5 名</p>
<p>前回の会議録について、修正なし。</p> <p>（ 1 ） 報告事項 なし。</p> <p>（ 2 ） 協議事項 ・ 生涯学習の場としての図書館について （委員長） 先ほど図書館を見学していただいたが、質問やお気づきの点などを幅広い視点でご意見をお願いしたい。</p> <p>（委員） 図書購入について、本の処分について、移動図書館が廃止になったことについて、電子書籍について、子ども向けの本（コミック等）について、図書館の利用の促進等図書館の PR について、それぞれ詳しく説明していただきたい。</p>	

第5期宇治市生涯学習審議会 第7回審議会

(事務局)

図書購入について、様々なルートから選んでいるが、市民からのリクエストが大きい。また、出版社から出ている新刊図書案内の中から何冊か候補をピックアップし、選書会議で購入するかどうか決めている。

(委員長)

リクエストから購入した本は何冊くらいあるのか？

(事務局)

年間購入している約1万冊の内、大半がリクエストによる購入である。

(委員)

リクエストはどれくらい受け入れられるのか？

(事務局)

公序良俗に反するもの以外は、ほぼ100%受け入れている。

コミックに関してだが、市ではコミックは原則購入しないこととしている。仮に購入すると、コミックはシリーズ物が多いので、それだけで書架が一杯になってしまう。ただし、コミックの中でも手塚治虫など社会的評価の定まったものは一部置いているものもある。

本の処分方法であるが、過去に人気本として複数冊購入した本やデータが古くなってしまった本、傷んで修復不能な本を除籍している。

(委員)

除籍している本の数はどのくらいあるか？

(事務局)

書架に収納できる物理的な限界もあるため、購入する本の冊数と同程度除籍している。

(委員)

図書館で本のリサイクル市を実施していると聞いたが、それは中央図書館のみで実施しているのか？

(事務局)

他の図書館では、リサイクル市を行うスペースとリサイクル本を保管しておくスペースがないので、現状は中央図書館のみの実施である。

(委員)

参加者はどのくらいか？

第5期宇治市生涯学習審議会 第7回審議会

(事務局)

約500名の方にご参加いただいている。

(委員)

本の除籍に関して、古い本(IT関係のテキスト本など)は除かないのか?

(事務局)

市場では姿を消しているが、現在も古いバージョンのソフトを使っている方もおられ、そういった方が借りられているので置いている。

移動図書館について、駐車スペースや騒音、排気ガスの関係等を考慮すると復活は厳しい。

(委員)

今後、ますます高齢者が増えると思うので、図書館に足を運ぶことが難しい方のためにも、移動図書館について検討していただきたい。

(委員)

現在、貸出期間は3週間となっているが、これは短く感じる。

また、余談ではあるが、視力が低下している高齢者にとって、大活字本は魅力的だと思う。

(委員長)

大活字本はどのような性質のものか?出版社から出ているのか?

(事務局)

出版社から出ている。

(委員長)

全ての本が大活字本になるとは限らない。パソコンで文字を読み上げたり、字を大きくしたりすることはできるが、実際に必要としている方にはそれができないというギャップがあるので、大活字本はもっと検討していただく余地はある。

(委員)

電子書籍は活字が大きくて読みやすい。

(事務局)

電子書籍は、ディスレクシアという活字が認識できない障害のある方も、音で聞いたり、アニメーションで見たりして内容が理解できるようになっているので、様々な可能性を秘めている。しかし、公共図書館に設置することは、タブレット端末を持っていない人への対応や予算の関

第5期宇治市生涯学習審議会 第7回審議会

係、書籍の種類が限られていることから、今のところ導入する予定はない。

(委員長)

ある県の図書館ではタブレット端末の貸出を実施しているそうだが、どうか？

(委員)

SDカードなど、メモリ媒体を介しての貸出はどうか？

(委員)

著作権の問題や規格が統一されていないことなどを考慮すると、難しいと思われる。

(委員)

図書館の雰囲気について、子どもを連れてくると迷惑をかけてしまいそうになるので、堅苦しく感じる。

(委員長)

スペースの問題もあると思うが、世界では図書館は本を読むだけではなく、議論する場になってきている。

(委員)

子ども連れのお客の件だが、利用者の中には子どもの声が非常に苦手な方もいるので、スペースや仕切りで分ける必要がある。

(委員)

図書館内の子ども用のスペースが暗いように感じる。

(委員)

子ども図書館ができれば非常に助かるのだが。

(委員)

子ども用の本の並べ方について、本を置くスペースが無いので、本を詰めて並べたい気持ちは分かるが、非常に取りにくい。一冊抜くとちょうど良い気がする。

(委員)

(移動図書館が廃止になったことを受け) 現在、車庫はどうなっているのか？このスペースを活用できるのでは？

第5期宇治市生涯学習審議会 第7回審議会

(事務局)

現在は市の公用バスや本の運搬用の軽自動車を置いている。

(委員)

宇治市の図書館は、絵本は出版社別に並べているのか？

(事務局)

出版社別に並べている。

(委員)

近隣の市町では、アイウエオ順に並べているところもある。

(事務局)

出版社別に並べているのは、出版社がシリーズとして本を出しており、利用者にとって分かりやすいと考えるからである。

(委員)

図書館で雑誌や新聞だけ読まれ、休憩所の様に利用されている方は増えているか？

(事務局)

統計をとっていないので増加しているかどうかを申し上げることはできないが、娯楽を提供することも図書館の役割の一つではある。

(委員)

盗難や新聞や雑誌の切り抜きは増加しているか？

(事務局)

切り抜きに関しては減少してきている。新聞に掲載されている割引券などの切り抜き防止のため、図書館のスタンプを押しており、それが切り抜きの抑制に繋がっている。

(委員)

京都市のある図書館では、建物の約半分がビデオライブラリーとして利用されているが、宇治市ではどうか？

(事務局)

スペース等を考慮すると難しい。

(委員)

貸出だけでもできないか？

第5期宇治市生涯学習審議会 第7回審議会

(事務局)

必要性は感じているが、貸出作業に対する人員体制を考えると難しい。

(委員長)

世の中全体の流れが、本ではなくビデオの方に目が向いてきている。

(委員)

先日、東宇治高校の図書館を見学されたそうだが、どうか？

(事務局)

司書の方から、公共図書館との連携を考えてほしいとの話があった。具体的には、現在、小学校や中学校に対して行っている学校等団体貸出を高校に拡大できないか、というものである。

(委員)

東宇治高校は、一人あたりの貸出冊数が他の学校と比べて高い、と聞いたが、読書離れなどを防ぐような取組をしているのか？

(事務局)

司書の生徒に対する関わり方や本のディスプレイの工夫の仕方が他の学校と違うのではないかと思う。

(委員)

図書館見学は、小学校全校で実施しているのか？

また、誤って返却ポストに入った家庭の本などは、どうしているのか？

(事務局)

全校で実施しているかは把握していない。図書館見学では、蔵書についての話や図書の分類、本の借り方・返し方などを学ぶ。

家庭の本で、間違えて返却されたものは、本当に間違えて入ったのか、寄贈として入っているのかが分からないため、図書館カウンター内に「間違えて入った家庭の本」のコーナーがあり、そこに入れている。

(委員)

本を寄付した場合、受け取ってくれるのか？

(事務局)

必ずしも全ての本を受け取るわけではない。また、本が重複している場合などは、受け取った本を全て蔵書として登録するものではない。

(委員)

市内に図書館が3館あるが、中央図書館ではどの地域の方が来られて

第5期宇治市生涯学習審議会 第7回審議会

いるのか？

(委員)

大久保あたりの方でも中央図書館に行っている。

(委員)

予約図書配本所のリストはないのか？マップで場所が分かれば利用者の数が増えると思うが。

(事務局)

現在、インターネットでは公開しているが、紙ベースではお知らせしていない。

(委員)

アナログの人も多いと思う。紙ベースで出せないのか？

(委員)

2年に1回、スポーツ少年団で裏に団体の連絡先が掲載されたマップを発行しているが、問い合わせは多いように感じる。

(事務局)

一度検討する。

(委員)

宇治市では、外国の方の居住者が増えていると聞いているので、子どもだけではなく、大人も含め、日本で生活していくために必要な本は少しでも必要だと感じた。需要はあるのではないかと思う。

(3) その他

・京都府社会教育委員連絡協議会総会、山城地方社会教育委員連絡協議会総会について

京都府社会教育委員連絡協議会総会	2名参加
山城地方社会教育委員連絡協議会総会	7名参加

・公開シンポジウムのご案内

テーマ：「原発とコミュニケーション」

日時：平成24年6月17日(日)午後3時～

会場：京都文教大学・短期大学

【次回の会議】

平成24年8月2日(木)15:00～ 場所：西宇治体育館